

2022年2月15日  
株式会社日立ハイテク

## アゼルバイジャン共和国の現地学校向けにオンライン理科出前授業を実施

日本・アゼルバイジャン外交関係樹立 30 周年記念交流事業



**JAPAN - AZERBAIJAN**  
güneşimizi alovlandırmaq

【日・アゼルバイジャン友好年ロゴ】

株式会社日立ハイテク(以下、日立ハイテク)は、日本とアゼルバイジャン共和国との外交関係樹立 30 周年を迎える本年、「日アゼルバイジャン友好年 2022\*1」を記念した交流事業の一環として、アゼルバイジャンの現地学校 8～13 歳の生徒たちを対象とした理科出前授業を 2022 年 2 月から 11 月までに全 4 回オンラインで開催いたします。アゼルバイジャンの現地学校を対象に、Hitachi High-Tech RUS Limited Liability Company (日立ハイテクロシア、モスクワ) からオンラインによる出前授業を行いながら、日立ハイテク本社 (東京都港区) に設置している卓上型電子顕微鏡を現地生徒たちに遠隔操作してもらうなど、3 拠点を同時に接続して実施する予定です。

日立ハイテクは、本事業への参加を通じ、アゼルバイジャンの生徒たちにミクロの世界を通じた理科の楽しさを伝えることで、科学研究を担う次世代人財の育成に貢献します。

### ■日立ハイテクによるオンライン出前授業の日程と開催都市

| 日程             | 開催都市 |
|----------------|------|
| 2022年2月18日(金)  | バクー  |
| 2022年5月20日(金)  | シャマヒ |
| 2022年7月8日(金)   | バクー  |
| 2022年11月11日(金) | シエキ  |

### ■日立ハイテクの理科教育支援活動について

日立ハイテクグループでは、21 世紀の国際社会の共通ルール・達成目標に位置付けられている SDG s を踏まえ、自社の事業を通じ社会課題解決のために取り組むべき重要課題を特定しています。その 1 つに「科学と産業の持続的発展への貢献」を設定しており、事業を通じて培ってきた「見る・測る・分析する」という日立ハイテクのコア技術、および製品を活用した理科教育の振興支援などを通して、次世代の科学研究を担う人財育成に貢献しています。

最先端の電子顕微鏡を開発・販売してきた日立ハイテックグループは、コンパクトながらも高倍率・高精度に試料観察・分析が可能である自社の卓上電子顕微鏡を活用し、小・中学校への出前授業や科学館・企画展への装置貸出などを行うことで、教育現場で子どもたちが身近なものをマイクロのスケールで見られる体験を提供し、科学技術への興味関心を喚起するための理科教育支援活動を 2005 年から実施しています。

この活動は国内にとどまらず、中国、シンガポール、インドなどにおける出前授業や、アメリカ、イギリス、オーストラリアなどでの装置貸出を通じた理科教育支援など、今や世界の 28 カ国に広がっており、これまでに 24 万人以上の児童や生徒達が参加しています\*2。2017 年の「ウクライナにおける日本年\*3」や、2018 年の「ロシアにおける日本年\*4」では、記念事業の一環として、卓上型電子顕微鏡を使用した出前授業や理科イベントを現地の生徒や学生向けに開催しました。そして 2020 年以降、オンラインによる理科教育支援活動の機会が増加する中、今回の記念交流事業についても、オンライン出前授業を通じた参加が実現しました。

今後も、日立ハイテックは理科教育支援活動を通して科学・研究開発分野を担う次世代人財育成のために、さまざまな関連団体と協力しながら、教育現場の課題解決に貢献し、社会・環境価値の創出に取り組んでまいります。

\*1 2022 年、日本とアゼルバイジャンは外交関係樹立 30 周年を迎えます。「友好年」は、両国にとり重要な年を「日アゼルバイジャン友好年」として盛り上げ、アゼルバイジャンと日本の両国において、文化・経済・政治等の様々な分野で交流事業を行うことをもって、両国間の関係を深化させようという試みです。詳細については、以下の日アゼルバイジャン友好年 2022 特設ページをご覧ください。

( [https://www.az.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/11\\_000001\\_00155.html](https://www.az.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00155.html) )

\*2 2005～2020 年度実績

\*3 日本とウクライナが外交関係を樹立してから 25 年目となる 2017 年、これを記念して「ウクライナにおける日本年」と位置付け、ウクライナにおいてさまざまな文化行事や交流行事を実施しました。

\*4 2016 年 12 月の日露首脳会談の際の両国首脳間の合意に基づき、2018 年から 2019 年にかけて「ロシアにおける日本年」・「日本におけるロシア年」（日露交流年）が開催され、幅広い分野において両国を相互に紹介する行事が実施されました。

## ■日立ハイテックの理科教育支援活動に関する WEB サイト

<https://www.hitachi-hightech.com/jp/science-edu/>

## ■日立ハイテックについて

日立ハイテックは、2001 年、株式会社日立製作所 計測器グループ、同半導体製造装置グループと、先端産業分野における専門商社である日製産業株式会社が統合し、誕生しました。

医用分析装置、バイオ関連製品、分析機器の製造・販売を行う「アナリティカル・ソリューション」、半導体製造装置、解析装置の製造・販売を行う「ナノテクノロジー・ソリューション」、社会・産業インフラ、モビリティなどの分野において高付加価値ソリューションを提供する「インダストリアル・ソリューション」の 3 つのセグメントで、グローバルな事業展開を行っています（2021 年 3 月期日立ハイテックグループ連結売上収益は 6,063 億円）。

詳しくは、日立ハイテックのウェブサイト(<https://www.hitachi-hightech.com/jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立ハイテク CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 [担当：濱]

〒105-6409 東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

Mail : [inspire-stem.aj@hitachi-hightech.com](mailto:inspire-stem.aj@hitachi-hightech.com)

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---